

「東京都支部創設50周年記念マラソンコンテスト」開催について

JARL東京都支部 コンテスト委員会

2022年8月29日、JARL東京都支部は創設50周年を迎えました。これを記念して、限定アワードの発行、記念ロゴマークの制定などの記念事業が行われています。コンテスト委員会でも、周年行事の締めくくりとして、記念日の8月29日を含む7日間、「東京都支部創設50周年記念マラソンコンテスト」の開催を計画いたしました。今回の記念コンテストは、事務局・連絡先が東京都内にある社団局等も都内での運用に限り参加可能としました。(事務局・連絡先が東京都内ない社団局等は参加できません)東京都支部が開催する他のコンテスト同様、都外局同士の交信も有効です。また、運用日数がマルチなので、毎日参加で総得点が増大します。なお、

- マラソンコンテストのため市区町村・道府県マルチは設定しません。(「7 得点及びマルチプライヤー」参照)
- 同一バンドでの同一局との交信(SWLは受信)は、期間中1回のみ有効です。(「6 制限事項」参照)
- 臨時開催の記念コンテストのため、通常開催の東京コンテスト等とマルチの計算方法が異なります。

このため、コンテストロギングソフトなどの電子ログ作成ツールを使用して「東京コンテスト」の設定で電子ログを出力した場合、マルチと総得点を手修正する必要があります。 ※ (「10 書類の提出」参照)。ご留意の程お願いします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

東京都支部創設50周年記念マラソンコンテスト 規約

1 日時 2023年8月28日(月)00:00 ~ 9月3日(日)23:59:59 JST (7日間)

2 参加資格

国内アマチュア局(移動運用する局も含む)及びSWL。ただし、社団局・特別局・特別記念局(以下「社団局等」という)は、事務局・連絡先が東京都内にある局に限る。(事務局・連絡先が東京都内ない社団局等は参加できない)

3 使用周波数帯

- 21MHz~430MHz帯(JARLコンテスト使用周波数帯による)
 - 1200MHz帯(総務省告示のアマチュアバンド使用区別による)
- 注) A2A電波による電信はAM/SSB、F2A電波による電信はFMの使用周波数帯とする

4 参加部門・種目及びコード

部 門	種 目	コード	
		都内局	都外局
都内社団局等 電信電話	オールバンド	1ZA	
	オールバンド	1XA	2XA
個人局 電信電話	21MHz	1X21	2X21
	28MHz	1X28	2X28
	50MHz	1X50	2X50
	144MHz	1X144	2X144
	430MHz	1X430	2X430
	1200MHz	1X1200	2X1200
	SWL	1XSWL	2XSWL

注1) 都内局:無線局の運用場所(送信場所とする)が都内である局

注2) 都外局:無線局の運用場所(送信場所とする)が都外である局

注3) 都内局、都外局の両方にエントリーすることはできない

注4) SWLの種目はオールバンド・シングルバンドの区別をしない

注5) 事務局・連絡先が東京都内にある社団局等の参加種目はオールバンドのみとする。交信は都内での運用のみが有効であり、都外での運用は得点にならず、運用日数も計上できない。

注6) 事務局・連絡先が東京都内ない社団局等は参加資格がないので、運用場所が都内であってもエントリーできない。

5 交信方法

(1) 呼び出し

- ① 電信 「CQ TK TEST」
- ② 電話 「CQトウキョウコンテスト」

注) マラソンコンテスト参加中である旨を付加することは差し支えない

(2) コンテストナンバーの交換

- ① 都内局 = シグナルレポートRS(T)+自局の運用地点を示す別記市区町村ナンバー
 - ② 都外局 = シグナルレポートRS(T)+自局の運用地点を示す別記道府県ナンバー
- 例1) 相手局のRS(T)が59(9)、自局の運用場所が町田市の場合のコンテストナンバーは59(9)010
例2) 自局の運用場所が山梨県の場合は59(9)17

(3) 都外局同士の交信も有効

6 制限事項

- (1) クロスバンドによる交信の禁止
- (2) 同一バンドにおける2波以上の電波(個人局の場合、バンドの異なる場合も含む)の同時発射の禁止
- (3) 都内局の運用場所の変更は、都内に限り可(市区町村ナンバーが変わってもよい)。もし都外で運用した場合は、当該交信は得点にならず、運用日数にも計上できない
- (4) 都外局の運用場所の変更は、都外に限り可(道府県ナンバーが変わってもよい)。もし都内で運用した場合は、当該交信は得点にならず、運用日数にも計上できない
- (5) レピータ、衛星の使用禁止
- (6) 同一バンド内における重複交信(SWLは受信)は、交信日・電波型式・運用場所が異なっても得点にならず、運用日数にも計上できない

7 得点及びマルチプライヤー

(1) アマチュア局

- ① 得点 = 完全な交信で相手局が「都内局」の場合2点、「都外局」の場合1点
- ② マルチプライヤー = 自局が運用した日数(最大7。バンドごとの運用日数を足し合わせないこと)

(2) SWL

- ① 得点 = 完全な交信をした「都内局」を受信した場合2点、「都外局」の場合1点
- ② マルチプライヤー = 自局が運用した日数(最大7。バンドごとの運用日数を足し合わせないこと)

(3) 総得点

- ① オールバンド = (各バンドで得た得点の和) × (自局が運用した日数)
- ② シングルバンド = (当該バンドで得た得点) × (自局が運用した日数)

注1) 同一バンド内における重複交信は、交信日・電波型式・運用場所が異なっても得点にならず、運用日数にも計上できない

注2) SWLは、注1)の「交信」を「受信」と読みかえる

注3) アマチュア局は交信した局の中に社団局等が含まれる場合、その社団局等の事務局・連絡先が東京都内ない場合であっても、この交信を得点に計上してよい

注4) SWLは受信した個人局の交信相手に社団局等が含まれる場合、その社団局等の事務局・連絡先が東京都内ない場合であっても、この受信を得点に計上してよいが、逆に受診した社団局等の交信はその社団局等の事務局・連絡先の所在に関わらず得点にならず、運用日数にも計上できない

注5) オールバンド部門で参加の場合の日数マルチプライヤーは自局が運用した全てのバンドを通じての運用日数(最大7日間)となるので、バンドごとの運用日数を足し合わせないこと

8 都内JARL登録クラブの得点及び順位

都内JARL登録クラブの構成員(個人局)から申告された総得点をクラブごとに計上し、順位を決定し3位まで表彰する。なお、サマリーシートのクラブ対抗欄に登録クラブ番号を正確に記入すること。クラブ名等のみの場合には対象としない

9 賞

(1) 各部門、種目の書類提出局数に応じて賞状を贈る(入賞者はJARL会員とする)

- ① 都内局は各種目の3位まで
- ② 都外局は各エリアの参加数に応じ、
 - (ア) 10局以下の場合、1位のみ
 - (イ) 11局以上20局以下の場合、2位まで
 - (ウ) 21局以上の場合、3位まで

(2) JARL東京都支部ホームページ(HP) (<https://www.jarl-tokyo.org/wp2/>) 及び「JARL NEWS」に結果発表後、賞状を直接本人に贈る。各アワードも同様とする

10 書類の提出

(1) 紙ログ

- ① JARL制定のサマリーシート・ログシートまたはこれと同形式のものを使用し、所定の事項を記入して提出する(A4サイズ厳守)
- ② 参加局は、全部門を通じて1種目のみにサマリーシート・ログシートを提出する
- ③ サマリーシートに「コンテスト名称」「参加部門・種目コード」「コールサイン」などを記入する
注)コンテスト名称は「東京50コンテスト」など、適宜短縮してもよい
- ④ 郵送提出先 〒198-0036 東京都青梅市河辺町4-9-1 伊藤健一

(2) 電子ログ(E-mail)

- ① 提出先 50marathon@contest.jarl-tokyo.org
- ② 形式はJARL形式に準じるが、原則としてJARLコンテスト電子ログ・サマリーシート作成ページのVERSION=R1.0とする。全文をメール本文に貼り付けて送信する。
(参考:VERSION=R1.0 東京都支部HP「コンテスト規約」「東京都支部主催コンテストログ・サマリー提出用ツール」の項)

注1)コンテスト名称は「東京50コンテスト」など、適宜短縮してもよい

注2)コンテストロギングソフトなどの電子ログ作成ツールを使用して「東京コンテスト」の設定で電子ログを出力した場合、市区町村・道府県ナンバーをマルチとしてカウントしてしまうが、このとき、

- 全バンド合計の交信局数・得点・マルチの内訳が、例えば<SCORE BAND=TOTAL>40,68,29</SCORE>のように出力されるので、このマルチ部分(この例では29)を、自局が運用した日数に書き換え、例えば<SCORE BAND=TOTAL>40,68,5</SCORE>のようにして提出すること
 - 総得点もマルチを含めて計算され、例えば<TOTALSCORE>1972</TOTALSCORE>のように出力されるので、本規約により計算した総得点に書き換え、例えば<TOTALSCORE>340</TOTALSCORE>のようにして提出すること
 - 一方、個々のバンドごとの内訳(例えば<SCORE BAND=50MHz>20,34,15</SCORE>)は、書き換えずにそのまま提出してよい。また、ログシート部分の新マルチ獲得表示も、削除せずにそのまま提出してよい
- ③ 電子メールのsubject(主題:タイトル)は、運用局のコールサイン(例:JA1***/1など)とする
注)移動と固定の両方で参加した場合、コールサインのポータブル表示は任意とする
 - ④ JARL形式に準じない書類は不可(失格)とする
 - ⑤ 添付ファイルで提出した書類はウイルス対策等に鑑み不可(失格)とする
 - ⑥ 自動返信による書類受付の返信メールを送信した際、書類のフォーマット、記載内容に関しての不備の有無までは示していないので留意されたい
 - ⑦ ログシートに得点は必ず記載。記載のないものは不可とする
 - ⑧ 電子ログの受付に関し、システム上の問題等によりメールの再送信もしくは郵送での提出をお願いすることがあり、システム上の問題が発生した場合に、やむを得ず電子ログの受付を中止する場合がある。その場合は予め東京都支部HP上で告知する

(3) 締切日

- ① 紙ログ:9月15日(金)の消印まで有効
- ② 電子ログ:9月17日(日)23:59:59のタイムスタンプまで有効

11 入賞者等発表

入賞者は「JARL NEWS」地方コンテスト結果で発表し、全参加者のコンテスト結果はJARL東京都支部HPで発表する。また、チェックログ局名及び失格局名も掲載する

12 その他

前記以外のルールは原則としてJARLコンテスト規約に準ずる

本コンテストに関する問い合わせ、コンテスト結果に対する異議申し立て(発表後2週間以内に限る)は、メールアドレス(contest-q@contest.jarl-tokyo.org)による

13 市区町村・道府県ナンバー

002 八王子市	003 立川市	004 武蔵野市	005 三鷹市	006 青梅市	007 府中市	008 昭島市	009 調布市	010 町田市	011 小金井市
012 小平市	013 日野市	014 東村山市	015 国分寺市	016 国立市	019 福生市	020 狛江市	021 東大和市	022 清瀬市	023 東久留米市
024 武蔵村山市	025 多摩市	026 稲城市	028 羽村市	029 あきる野市	030 西東京市				

101 千代田区	102 中央区	103 港区	104 新宿区	105 文京区	106 台東区	107 墨田区	108 江東区	109 品川区	110 目黒区
111 大田区	112 世田谷区	113 渋谷区	114 中野区	115 杉並区	116 豊島区	117 北区	118 荒川区	119 板橋区	120 練馬区
121 足立区	122 葛飾区	123 江戸川区							

201 瑞穂町	202 日の出町	203 檜原村	204 奥多摩町
---------	----------	---------	----------

401 大島町	402 利島村	403 新島村	404 神津島村	411 三宅村	412 御蔵島村	421 八丈町	422 青ヶ島村	431 小笠原村
---------	---------	---------	----------	---------	----------	---------	----------	----------

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 秋田県	05 山形県	06 宮城県	07 福島県	08 新潟県	09 長野県	11 神奈川県
12 千葉県	13 埼玉県	14 茨城県	15 栃木県	16 群馬県	17 山梨県	18 静岡県	19 岐阜県	20 愛知県	21 三重県
22 京都府	23 滋賀県	24 奈良県	25 大阪府	26 和歌山県	27 兵庫県	28 富山県	29 福井県	30 石川県	31 岡山県
32 島根県	33 山口県	34 鳥取県	35 広島県	36 香川県	37 徳島県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県	41 佐賀県
42 長崎県	43 熊本県	44 大分県	45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県				

14 東京都支部創設50周年記念マラソンコンテスト「アワード」申請要領

(1) 「アワード」

- ① 「全市賞」「全区賞」「全郡・島賞」を、本コンテスト期間内に全市(002~030)、または全区(101~123)、あるいは全郡・島(201~204の4町村と401~431のうちの1町村の計5町村)とそれぞれ完全な交信(SWLは受信)が成立した局に発行する。シングルバンド、マルチバンドの制限はない。特記なし
- ② 申請先はコンテスト関係書類提出先に同じ

(2) 申請方法

サマリーシート下部(意見欄)に、「アワードを希望する旨」及び「全市賞」「全区賞」「全郡・島賞」アワードの種別を明記する。返信用切手と封筒は不要